

平成18年度普通会計決算報告

22億6,697万2千円の使いみち

平成18年度普通会計決算状況 (総務省地方財政状況調査より)

1. 総括

- 決算規模は、2,266,972千円となり、前年度比△10.3%となった。
- 実質収支は黒字となったが、単年度収支・実質単年度収支は赤字となった。

2. 歳入

歳入合計では、前年度と比較して△297,089千円(△11.5%)となった。主な増減としては、電源立地地域対策交付金△68,800千円、庁舎建設基金繰入金△65,000千円、地域振興基金繰入金△43,000千円があげられる。一方、普通交付税は△25,582千円、特別交付税は△5,799千円、臨時財政対策債は△11,800千円となった。

3. 歳出

(1)目的別歳出

目的別歳出の主な構成内訳は、総務費14.2%、民生費21.5%、衛生費15.2%、農林水産業費9.9%、土木費3.5%、消防費3.8%、教育費7.8%、公債費18.1%となっている。

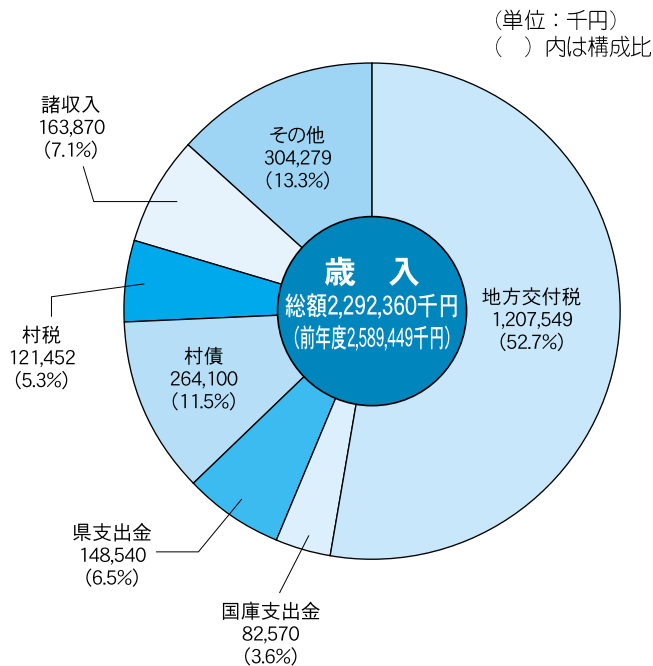
また、主な増減としては、教育費が△134,955千円(△43.4%)、消防費が△76,973千円(△47.2%)、総務費が△47,670千円(△12.9%)、農林水産業費が△33,677千円(△13.0%)となった。

(2)性質別歳出

義務的経費では、人件費が退職不補充等により△36,743千円(△6.4%)となった。

補助費等は、下北地域広域行政事務組合負担金の減等により△93,227千円(△21.4%)となった。

普通建設事業費は、野球場改修事業の減等により△118,751千円(△27.5%)となった。



☆決算収支の状況

(単位：千円)

区分	歳入総額(A)	歳出総額(B)	歳入歳出 差引額 (A)-(B) (C)
平成18年度	2,292,360	2,266,972	25,388
平成17年度	2,589,449	2,526,265	63,184
翌年度に繰り 越すべき財源	実質収支 (C)-(D) (E)	単年度収支 (F)	積立金 (G)
3,603	21,785	△ 35,899	18
5,500	57,684	△ 6,152	30
繰上償還金 (H)	積立金 取崩額 (I)	実質単年度収支 (F)+(G)+(H)-(I) (J)	
	39,000	△ 74,881	
	95,500	△ 101,622	

☆特別会計決算

(単位：千円)

	国民健康保険 特別会計	簡易水道 特別会計	老人保健 特別会計	介護保険 特別会計
歳入	347,604	131,791	299,859	265,792
歳出	341,788	130,578	296,785	232,986

○みなさんの村税は

このようになっています。

(単位：千円)

村民税	42,447
国定資産税	55,072
軽自動車税	3,351
村たばこ税	16,649
入湯税	3,933

☆財産区一般会計決算

(単位：千円)

	下風呂	易国間
歳入	16,470	1,418
歳出	10,180	914